

# 全国協議会 ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:笠原慶一  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 全国協議会役員立候補受付開始 第2回役員選挙を告示

全国協議会の第2回役員選挙に関して、笠原慶一理事長より選挙管理委員の委嘱が行われ、10月21日に第1回選挙告示が行われました。

### 第2回役員選挙のための第1回選挙告示

2003年度および2004年度役員選挙を行います。「役員選挙規程」並びに「選挙細則」に基づき下記の通り告示します。

2002年10月21日  
選挙管理委員長 梅田正造

1. 選挙管理委員会  
委員長:梅田正造  
副委員長:中島義則  
委員:田中幸一、牛島英二、  
鈴木紀子 以上3名

投票期間:2003年1月20日(月)  
~2003年2月28日(金)  
開票日:2003年3月8日(土)  
開票結果発表:  
2003年3月10日(月)

2. 役員の任期  
2003年7月1日~2005年6月30日

3. 役員の数  
会長1名、副会長3名、理事22名(正会員の推薦を要する理事14名、推薦を要しない公募による理事8名)、監事3名  
推薦を要する理事の地区定数  
北海道1名、東北2名、関東甲信越3名、東海北陸2名、近畿2名、中四国2名、九州2名、計14名

4. 選挙日程  
第1回告示:2002年10月21日(月)  
\*立候補受付開始、届出書等配布  
立候補届出締切:  
2002年12月25日(木)  
第2回告示:2003年1月20日(月)  
\*立候補者最終発表、投票用紙配布

5. 立候補者への注意事項  
(1) 必ず所定の届出書に記入して提出して下さい。届出書は下記の選挙管理委員会事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。  
(2) 届出書に自署押印の上、推薦書、立候補者の顔写真を同封の上、必ず簡易書留で郵送して下さい。  
(3) 立候補者に必要な推薦者(団体の数は、会長7団体以上、副会長5団体以上、監事3団体以上、推薦理事2団体以上です。但し、公募理事に推薦者は不要です。  
(4) 推薦書は、所定の用紙に推薦団体に記入してもらって下さい。用紙は選挙管理委員会事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。

## 12月は骨髄バンク推進月間 全国一斉登録会の開催にご協力を

今年も、骨髄バンク推進月間である12月が、近づいて来ました。財団では、3000人程度(約260カ所)のドナー登録を目標とする「全国一斉ドナー登録会」を計画し、関係者への協力を呼びかけています。

各地での積極的な協力をお願いすると共に、愛知と神奈川の取り組み計画を紹介します。

「ありがとう、1万人のドナー」愛知県は今年11月頃に、ドナー登録者が1万人を突破する見込みとなりました。そこで、12

月の骨髄バンク推進強化月間では「ありがとう、県内1万人のドナー!!」目指せ全国30万人」をスローガンに、活動を展開することとしました。



推進月間での「活躍」が期待される神奈川の会の登録用イベント

## 「献血ルーム・血液センター実態調査」 その② 普及啓発の実態

前回は、血液センターや献血ルームにおいて、ドナー登録を受け付ける施設であることが充分には表示されていないことを指摘しました。今回は、骨髄バンクやドナー登録に関する普及啓発の実態を検討してみます。

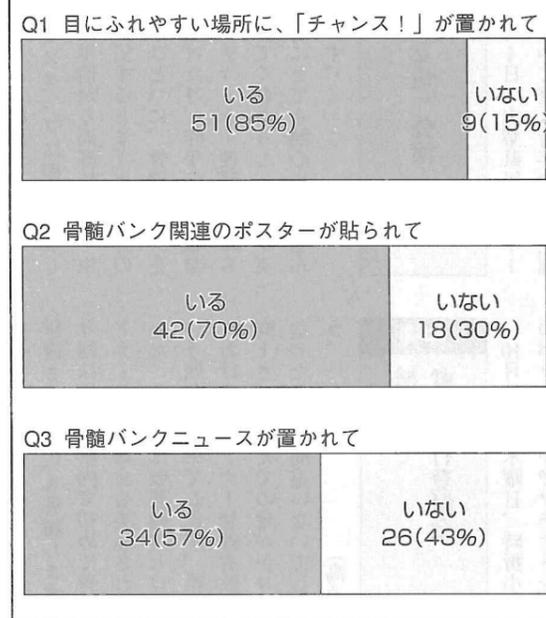
まず、それぞれの施設の受付カウンターや待合ロビーで、パンフレット「チャンス！」が、来訪者の目に触れやすい場所に置かれているか否かを調べました。容易に見つけられたのは、60施設中51施設(85%)でした。登録受付施設でありながら見つけられなかったのは48施設中4施設、一方、非受付施設でありながら目立つ場所に置かれていたのは12施設中7施設でした。

次に、骨髄バンク関連のポスターの貼付を調べました。貼付されていたのは42施設(70%)でした。登録受付施設で貼付されていたのは12施設、非受付施設で貼付されていたのが6施設でした。

印刷物と共にラック等に並べられ、持ち帰り、あるいは閲覧が可能でした。登録受付施設のうち21施設には見当たらず、一方、非受付施設でも7施設には置かれていました。

「チャンス！」やバンクニュースを、ドナー登録希望者に配布しているという施設もあるようですが、部数に限りがあるとしても、待ち時間や献血後の休憩時に気軽に手にとりて理解を深められるような環境作りが望まれます。ポスターについては、その種類や枚数についての調査は行っていませんが、献血呼びかけのポスターの枚数に比べ、余りにも少ないというのが実情のようです。献血ルームが献血のための場所であることを知らぬ人は多いはずで、そこが骨髄バンクのドナー登録を行える場所であることをもっと多くの人々に知ってもらうためにも、少なくともドナー登録受付施設には、表示とともにポスターの貼付をお願いしたいと思います。

「チャンス！」、ポスター、バンクニュースは、普及啓発媒体としての意味合いが異なります。が、いずれも財団から無料で提供されるはずで、来訪者の目に触れ、手に取られてこそ意味があるわけですが、この三種類の媒体がすべて見つけられたのは60施設中22施設(37%)でした。「チャンス！」とポスターの2つに限っても、37施設(62%)に過ぎませんでした。



## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

●日本経済団体連合会が患者支援基金づくりに全面的なご協力  
財団では、患者負担金などの支払いが困難な生活保護世帯、生活困窮世帯の患者さんが、安心して骨髄移植医療を受けられるよう、総額4億円の「患者救済に資する事業基金」を開始しました。この基金は本年4月から各方面にご協力を依頼し、実現したものです。このたび、日本経済団体連合会におかれましては、経済状況が厳しいなか、患者さんの負担を減らすためという趣旨にご賛同いただき、金融界7団体、商界3団体、産業界21団体、個別企業192社に対し、総額2億6千万円を割り振りいただけたこととなりました。すでに日本自動車工業会、電気事業連合会よりご寄附決定のご連絡をいただいております。日本経団連の格別のご協力を心より感謝申し上げます。

●9月の登録会。献血併行登録会へシフト。登録者数は低迷  
9月のドナー登録者数は1635人で、取消者数は442人、実質増加数は1193人でした。登録会の回数は、74回(そのうち献血併行65回)が実施され、合計810人の方にご登録をいただき、登録会の形態は献血併行型への移行傾向が顕著に見られるようになりました。都道府県別の登録会開催数は、愛知11回、富山8回、福島、沖縄7回、東京、石川5回、秋田、埼玉、新潟、鹿児島が3回、静岡、岐阜、京都が2回、北海道、岩手、宮城、山形、栃木、茨城、千葉、神奈川、福井、山口、長崎がそれぞれ1回開催されました。そうした中、富山県では県が雇用促進予算で説明員を

採用。実際には県看護協会の4名が担当し、この9月から巡回型登録会を実施するという新しい取り組みに着手し、着実な成果を上げています。

●東海北陸地区事務局は中部地区事務局と名称変更いたします。  
この度、厳しい財政状況と業務の集約化を考慮し、北陸事務局を東海事務局と統合し、名称を「中部地区事務局」として11月から新たにスタートすることになりました。所在地、電話、FAXは現東海事務局と変わりません。

●日本骨髄バンクの現状(2002年9月末現在)

	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,635	158,863	197,631
患者登録者数	130	1,886	13,051
骨髄移植例数	61	-	4,399

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクボランティアダイヤル  
フリーダイヤル  
バンクに とうろく  
0120-892-106

- が、いずれも財団から無料で提供されるはずで、来訪者の目に触れ、手に取られてこそ意味があるわけですが、この三種類の媒体がすべて見つけられたのは60施設中22施設(37%)でした。「チャンス！」とポスターの2つに限っても、37施設(62%)に過ぎませんでした。
- 一方、三種類の媒体がまったく見つけられなかった施設が3カ所(5%)ありましたが、その中には登録受付施設が1カ所含まれていたこと、そしてそこには登録受付施設であることの表示さえ無かったことは、強調しておかなければならないでしょう。
- (次号へ続く)
- 加盟・退会・会費減免・後援等の承認について
- 第2回役員選挙について
- 保険適用推進プロジェクトチームの立ち上げについて
- 平成15年度概算要求に対する今後の働きかけについて
- 12月推進月間について
- CFCカード アフィニティカードについて
- あやちゃん展について
- 佐藤きち子患者支援基金関連について
- 保険適用推進プロジェクトチームの立ち上げについて
- MAMO展に関する協議会の関わり方について
- JASチャリティマイルについて
- 白血病フリーダイヤルについて
- グッズについて
- NMDP年次総会参加報告
- 造血幹細胞移植学会での発表について
- 財団理事へのアンケート結果分析について
- 厚生科学審議会造血幹細胞移植委員会について
- 東京JCアワードへの参加について
- NPO法人税制改正を求める請願署名について
- 当面するイベントへの参加について

### 第25回理事会報告

10月20日・全国協議会事務局

# 心からのご寄付を ありがとうございました

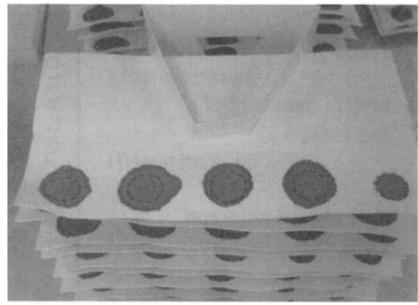
9月23日～10月20日

切明 隆	現金	5,000円
増田 静江	現金	5,000円
鈴木 純子	現金	1,680円
菊水 酒造株式会社	現金	500,000円
浅井 み奈子	現金	1,000円
鈴木 亜弥	現金	10,000円
佐々木 敏子	現金	3,434円
松尾 元春	現金	30,000円
株式会社タクトコーポレーション	現金	30,000円
ヤマダヤスヒロ	現金	9,475円
高山 初枝	現金	100,000円
三木 友美	現金	10,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
切明 隆	現金	5,000円
●白血病患者支援基金・募金箱		
中谷 光子	現金	10,000円
ハラ 薬局	現金	2,350円
堤 建装	現金	19,753円
スバゴ	現金	2,000円
山形庶民信用組合	現金	1,133円
山口 久男	現金	1,130円
全日本郵政労働組合東京・東北支部	現金	1,803円
ラウンジ 青山	現金	3,706円
リリオ モンタナ	現金	2,411円
モンキーヒル	現金	3,535円
カットスタジオ ガイ	現金	1,760円
株式会社カンセキ	現金	6,531円
あながいおまる一庫	現金	4,019円
ココストア 近江屋	現金	3,740円
さくら薬局 白金台店	現金	3,903円
金寿司	現金	10,000円
株式会社ヤマグチ	現金	43円
粕谷歯科医院	現金	1,141円
(有)一條薬局	現金	16,682円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

また、今年初めて患者擁護部門に次いで、ドナー擁護



フィルターペーパー検体  
全部で5カ所の血液を滴下する部分があり、このサンプルで全てのコーディネイトに必要な検査、並びに試験用検体保存に利用される。従来の試験管保存に比べて簡易かつ、安定して長期保存できる。(保管所にて)



今年度のNMDP (全米骨髄バンク) 年次総会が、10月11日から13日までの3日間開催され、全国協議会より金理事と三田村事務局員が参加しました。

NMDPは設立15周年を迎え、累計の造血幹細胞移植件数が1万5千件になりました。また昨年度は移植件数が2千件を超えました。さらに、3年前に始まったPBSC Tが増加し、数年後には骨髄移植数を超えそうな見通しです。

また、今年初めて患者擁護部門に次いで、ドナー擁護部門が新設されて、ドナーフォローアップ体制が整備されましたが、この分野に関しては日本が先行している部分でもあります。

フィルター検査によるドナー登録方法やフィルターペーパー保管所の見学も行いました。

## NMDP 視察報告

今年度のNMDP (全米骨髄バンク) 年次総会が、10月11日から13日までの3日間開催され、全国協議会より金理事と三田村事務局員が参加しました。

NMDPは設立15周年を迎え、累計の造血幹細胞移植件数が1万5千件になりました。また昨年度は移植件数が2千件を超えました。さらに、3年前に始まったPBSC Tが増加し、数年後には骨髄移植数を超えそうな見通しです。

愛媛「あやちゃん展」に  
9月21日(土)愛媛「骨髄バンク」を支援する会は、県民文化会館で集団登録会と「あやちゃん展」を開催しました。

ドナー登録は55名。「あやちゃん展」は知事ご夫妻にもご覧いただきました。

## 各地のたより

各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

## 愛知 高校主催の登録会

9月29日、愛知県豊橋市にある私立桜丘高等学校の学園祭の中で献血併行型ドナー登録会が行われました。主催はなんと高校生! 「骨髄郵便局」と名付けられた生徒有志が、起案から計画、準備、当日に至るまで、市保健所や日赤、骨髄バンクを支援する愛知の会と協力し、中心的に活動して実現しました。

新聞社、NHKも取材し、局長の安藤さん(3年生)は「命の大切さを理解して貰えたい」とコメントしました。父兄を中心に30名の方が登録してくれました。生徒さんがついたき

## 山梨 「友情」公演

10月4日、山梨県民文化ホールにおいて東八青年会議所主催による「友情」秋桜のパレードの公演が行われました。会場はほぼ満員、劇団「絵生」の力強いステージに観客は皆、魅了されました。きつとたくさんの方々に「生きること・命の大切さ」「骨髄ドナー登録の必要性」が伝わったことと思います。

また、自分の頭髪を丸刈りにして熱演し、財団への募金箱を持ってロビーに立ち、観客にお



願いをするなど「絵生」の若い俳優さんたちにも感謝します。今回は併せて県内で初めて骨髄ドナーの仮登録会も実施されました。こちらは仮登録者ゼロという残念な結果でしたが、県内における骨髄ドナー登録者数を向上させるうえで足がかりとなったことは間違いありません。(高遠)

10月10日の木曜日、時折小雨のバラつくなかでマチナトショップセンターの駐車場でイベントを張って、献血併行での登録会を行いました。今回の協力団体は浦添市の三つのライオンズクラブで、献血併行登録会もここでは三回目になります。ライオンズの皆さんは毎回骨髄バンクを熱心に応援して下さい。本当にありがたき思いです。

今回は血液センター職員が献血申し込み用紙をチェックした後骨髄バンク登録の声をかけていただき、反応のあった方を私たち説明員が引き継ぎました。そこでビデオとパンフレットに添った説明板でまた詳しく説明をします。ビデオは献血後の休憩時に見てもらいますが、ビデオ係は赤十字奉仕団の皆さんに手伝ってもらいました。骨髄ドナー登録50人、献血110人で説明員はいつもの二人です。(三枝子&美恵子)

「日赤は何もしてくれない」という声をよく耳にします。骨髄バンクのボランティアは日赤に対して要望ばかりしていないでしょうか?

骨髄バンク事業を日赤の業務の1つとする旨の通達があったとはいえ、現場の職員は本来の献血業務で精一杯だろうと考えられているのが自然。日赤は日々献血の協力を呼びかけていますが、この献血PRを数年前から骨髄バンクの登録とは関係なく、神戸の会が少なくとも月に1回お手伝いしています。

神戸の会のこのような地道な活動により、次第に兵庫日赤、特に職員の方々との距離感が縮まり、今では献血並行登録会を無理なく実施できるようになりました。そして、その結果、登録者を飛躍的に増やすことができました。何ができて何ができないかを知り、できない部分を互いに補うことで併行登録が進み出すようですね。(細見)

## 神戸 知り合うことこそ成功の秘訣

「幸せはどこにある」という本を出しました。自分自身の境遇を見つめ、病気を受け止めながら、四国遍路の旅を通して得た体験をまとめたものです。苦しみの中からつかむことのできた彼の世界には心揺さぶられるものがあります。告知の話、骨髄バンクの話、病気を受け止めていくようになった時々

## リレー紹介

### ボランティアの仲間たち

つかりと家を守っています。母は派手に、娘は地味に、母はキャンキャンと、娘はポヨヨと、相反している親子ですが、なんでも彼女は鍋奉行ならぬ焼肉奉行らしいので、これってやはり母親譲りかな、といささか心配です。

でも、そんな彼女の奉犠性が暴走する母をコントロールしているのかな? (吉田)

## 静岡 「幸せはどこにある」が出版

患者会「つつじの会」が結成して1年半が経ちました。会員も徐々に増えて現在35名となりました。会員同士の交流と情報交換、趣味の発表の場にもなっています。

先日は会員の石山未巳さんが

## 静岡 「幸せはどこにある」が出版

患者会「つつじの会」が結成して1年半が経ちました。会員も徐々に増えて現在35名となりました。会員同士の交流と情報交換、趣味の発表の場にもなっています。

先日は会員の石山未巳さんが

## 静岡 「幸せはどこにある」が出版

患者会「つつじの会」が結成して1年半が経ちました。会員も徐々に増えて現在35名となりました。会員同士の交流と情報交換、趣味の発表の場にもなっています。

先日は会員の石山未巳さんが

### 日本評論社

## 椿の咲く日まで

骨髄バンクと土佐清水の仲間たち

秦野純一/著 四六判 1600円+税

九七年春、骨髄バンク宣伝の四国一周自転車ラリーが行われた。その後、白血病で他界した童話作家和泉省作を偲ぶ土佐清水市から三人の骨髄ドナーが出た。命の重さを知り、骨髄バンク普及のため心血を注いだ人々のノンフィクション。

第1章 約束した千四百キロ  
第2章 骨髄移植と骨髄バンク  
第3章 やさしさと戸惑いと、温度差と  
第4章 椿の咲く日  
涙の数だけ強くなるうよ

サービスセンター ☎0492-74-1780 (価格は税別)  
東京都豊島区南大塚3-12-4 ☎03-3987-8621 <http://www.nippon.co.jp>

### ボランティア

## ボランティアの仲間たち

つかりと家を守っています。母は派手に、娘は地味に、母はキャンキャンと、娘はポヨヨと、相反している親子ですが、なんでも彼女は鍋奉行ならぬ焼肉奉行らしいので、これってやはり母親譲りかな、といささか心配です。

でも、そんな彼女の奉犠性が暴走する母をコントロールしているのかな? (吉田)